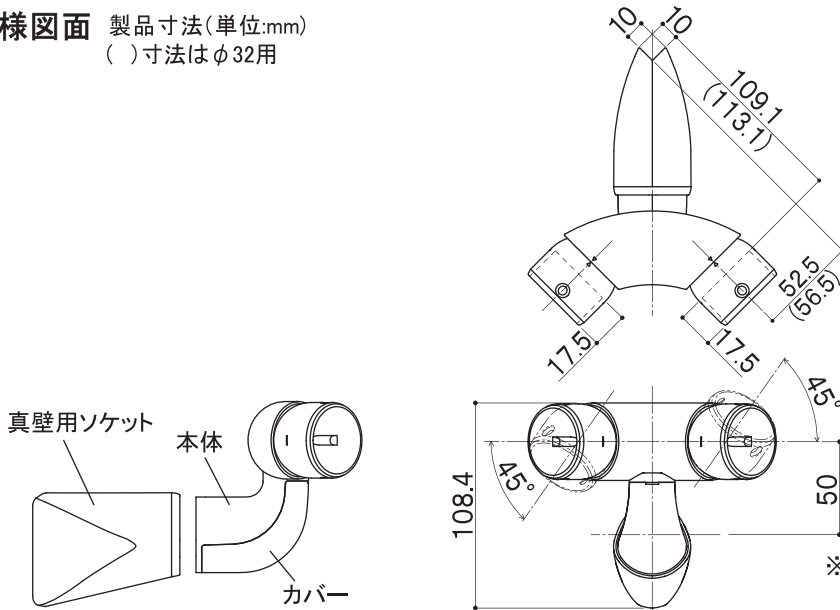


施工説明書/取扱説明書

BAUHAUSセレクトシリーズ入隅自在ブラケット真壁対応K(35・32兼用)BDE-15

仕様図面 製品寸法(単位:mm)
()寸法はφ32用



部品名	数量
本体	1
カバー	1
真壁用ソケット	1
32用スペーサー	1
32用変換アダプター	2
ソケット固定ねじA ⊕皿タッピンねじ4x80mm	3
本体固定ねじB ⊕皿小ねじM4x16mm	3
手すり固定ねじC ⊕丸皿タッピンねじ3.5x16mm	4
六角棒スパナ(呼び5)	1

※改良のために仕様は予告無く変更することがあります。

お客様へ

ご購入いただき、ありがとうございます。
弊社、木製手すりシリーズは、動作補助又は
歩行補助を目的に設置する手すり部材です。
転落の危険がある場所、屋外や水まわり
にはご使用にならないください。

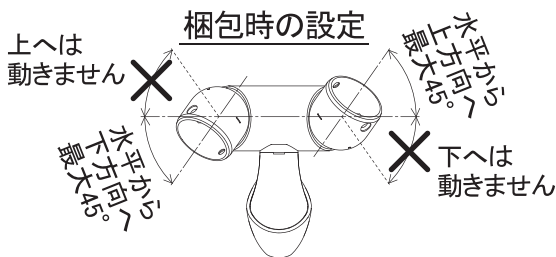
施工の際のご注意

- ブラケットの取付けピッチは、指定のピッチ以内としてください。
φ35用: 900ミリピッチ以内
φ32用: 700ミリピッチ以内
- 直ジョイントなど接続金具から100ミリ以内に必ずブラケットを
取付けてください。
- 端部の持ち出し長さは指定の長さ以内としてください。
φ35用: 150ミリ以内
φ32用: 140ミリ以内
- 詳細の施工マニュアルは、弊社HPまで。
<http://www.mazroc.co.jp/>

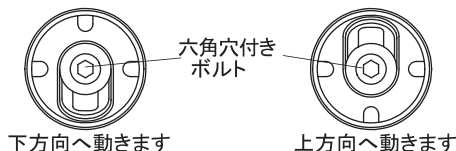
警告 取付けは必ず規定の寸法を守ること。
手すりが破損する恐れがあります。
けがの原因となります。

■カップ可動方向反転手順

カップの可動方向は梱包時、下図のように設定されています。可動方向を反転したい場合は、手順に従って可動方向を反転してください。



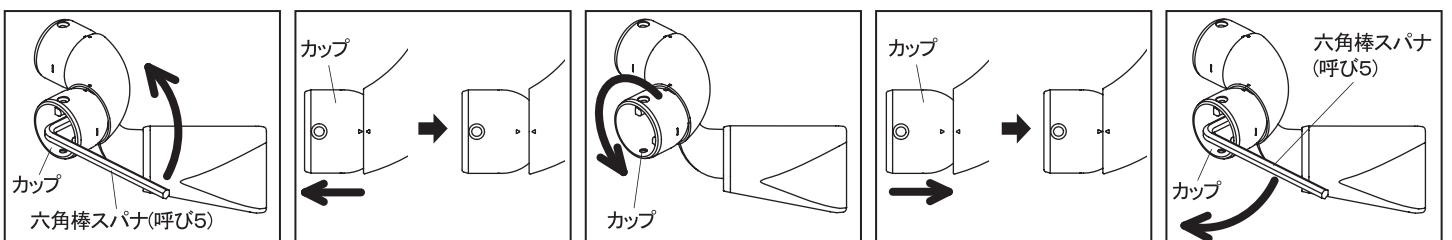
※動く方向はカップ内部をご覧ください。



- 角度調整は、ブラケットを壁面に固定し、
カップに手すり棒を差し込んで動かして
ください。
そのままでは固く、動きません。
- 両側のカップを下向きや
上向きでは使用しないで
ください。
- カップは上下方向のみ
角度調整が可能です。
前後(手前や奥)方向は
角度調整できません。

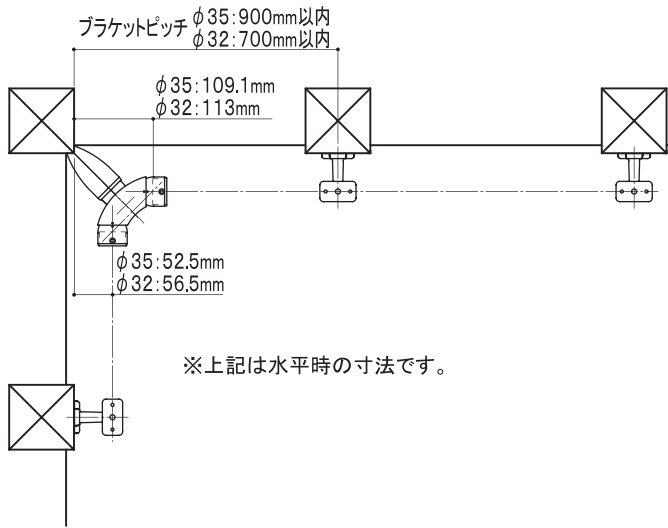
奥方向への
角度調整は
できません

手前方向への
角度調整は
できません



- 1) カップ内の六角穴付きボルトを付属の六角棒スパナ(呼び5)でゆるめます。
- 2) カップが回転できる位置まで抜きます。
- 3) カップを180°回転します。
- 4) カップを差し込みます。
- 5) カップ内の六角穴付きボルトを付属の六角棒スパナ(呼び5)で締め付けます。

■ 施工手順 1: 墨出し ▶ 2: ブラケット固定 ▶ 3: 手すり固定

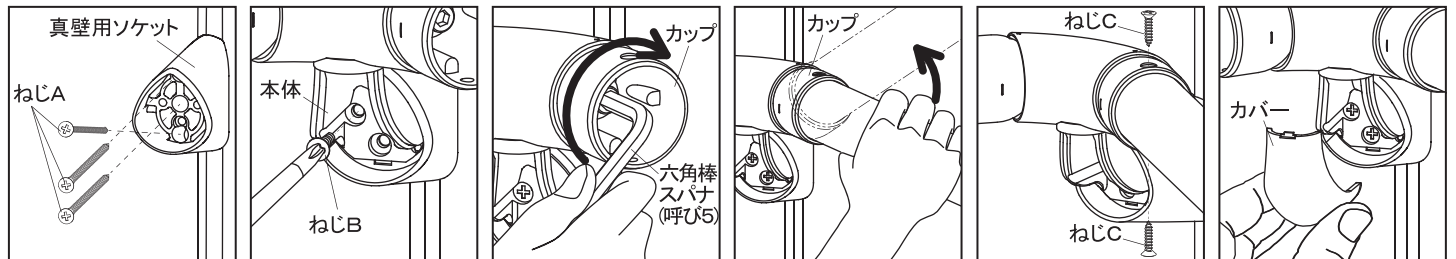


施工上のご注意

- ⚠ 取付けには口90mm以上の柱が必要です。
- ⚠ 取付けにはA寸法が10mm以上必要です。10mm以上あることを確認してください。
- ✗ 下記ブラケットとは壁からの出寸法が異なるため併用できません。
 - 真壁用スリムエンドブラケットカバー付 (BD-47・BE-47)
 - 真壁用スリム通しブラケットカバー付 (BD-52・BE-52)
 - 入隅用首振スリムエンドブラケットカバー付 (BD-57・BE-57)

φ32手すり棒を使用する場合

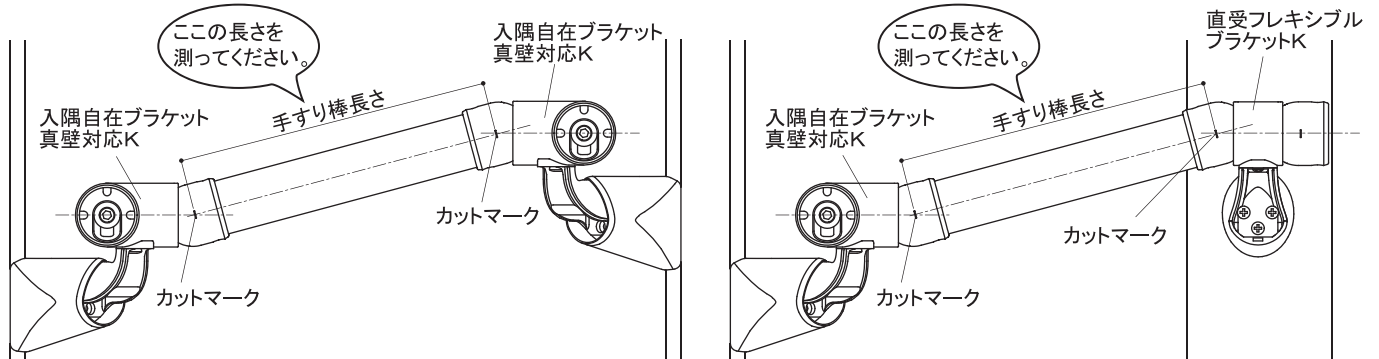
-
- カップに32用変換アダプターを装着してください。
- 真壁用ソケット
- 32用スペーサー
- 真壁用ソケットに32用スペーサーを入れてから本体を取付けてください。



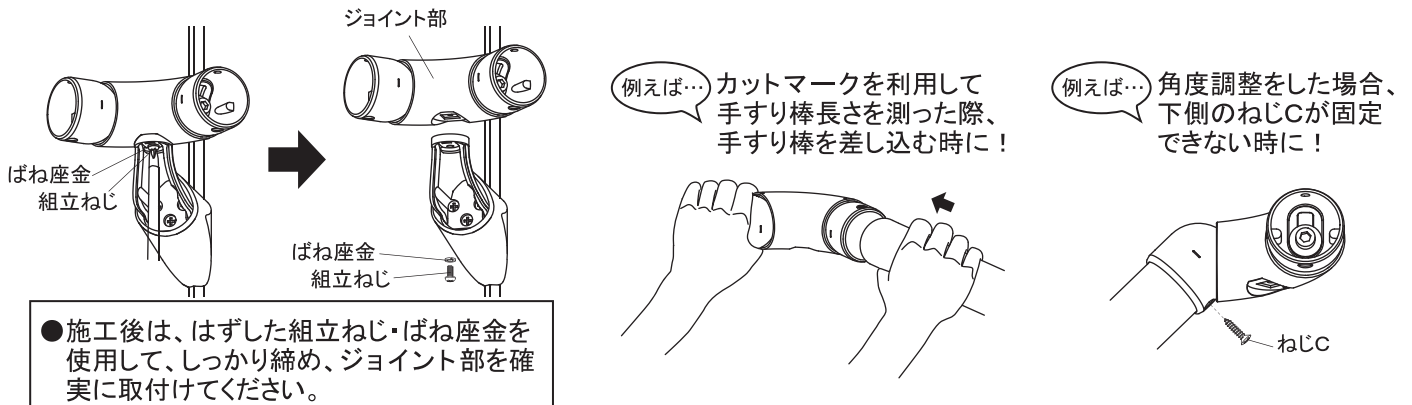
- 1) 位置決めをした位置に真壁用ソケットを付属のねじAで固定します。
- 2) 本体を付属のねじBで真壁用ソケットと固定します。
- 3) カップ内の六角穴付きボルトを付属の六角棒スパナ(呼び5)で締め付けます。
- 4) カップに手すり棒を差し込んで動かし、角度を調整します。
- 5) 手すり棒を付属のねじCで固定します。
- 6) カバーを取付けます。

施工ポイント

☆ソケット・本体を先に取付け、カットマーク間の寸法を測ると手すり棒長さがわかります。



☆本体の組立ねじ・ばね座金をはずし、ジョイント部をはずして施工できます。



● 施工後は、はずした組立ねじ・ばね座金を使用して、しっかり締め、ジョイント部を確実に取付けてください。